

HACHIJO

八丈島

TOKYO ISLAND STORY MAGAZINE

- Life of island
- Story of HACHIJO (#01,02,03)
- Feel HACHIJO Map
- Fashion & Events



Go, Hachijo Island



大切なものは、
全部ある。

The island offers you
precious moments.

“Ojariyare” HACHIJO!

ほっとする笑顔に出会う島

Island full of relaxing smiles

ふだんと違う景色の中でココロを解き放ちたいとき、
長い休みをとって遠い場所へ行かなくても、
じゅうぶんに楽しめる旅がある。

たとえば、八丈島。亜熱帯の気候がもたらす豊かな自然と
おだやかな時間が流れるこの島は、東京からジェット機で55分。

島で暮らす人たちの笑顔に、人生に触れるたび、ココロが強く動かされる。
自分を豊かにする旅に出よう。まだ見ぬ景色と出会おう。



たとえば初めてでも、
どこか懐かしくて安心できる
そんな場所だと思います
You would feel some nostalgia and relax
even if you visit here for the first time.
Hachijo is such a fascinating island.



同心空をみて、海をみて、
家族はもっと家族になる

Viewing the same sky and sea,
you will feel a oneness with your family more than ever.



いつもありがとう!
Thank you for everyday!



Story of HACHIJO #01

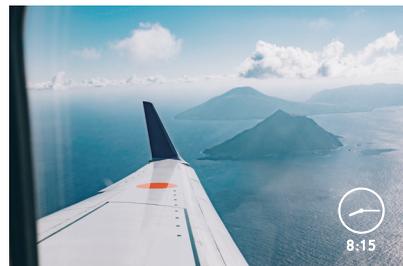
島で癒される! 女子旅

緑を感じ、海で泳ぐ、声をだして笑う…

私を解放する時間をもとう。広い景色を見て、自然の強さを味わおう。

ココロと身体に風を通したら、心地よさで満たそう。

「女子旅編」
動画はこちら



羽田空港からジェット機でわずか55分!
1日3便、直行便が飛ぶ東京からいちばん近い
南国。晴れていれば機内から横浜ベイブリッジ
~三浦半島~伊豆大島の景色を経て、八丈
小島と八丈ブルーの海がお出迎え。



- 7:30 羽田空港を出発
- 8:25 八丈島空港に到着
レンタカーをかりる
- ① 9:00 シュノーケリングのポイントへ
- 10:00 アオウミガメに遭遇できるかも!
- ② 13:00 カフェでゆったりランチ
- ③ 14:00 海岸沿いをブラブラ
- ④ 16:00 海を眺めながら足湯
- 17:30 ホテルにチェックイン
- ⑤ 18:30 地元の居酒屋で
島料理と島酒を満喫

島周辺がぐるりとダイビングポイントに囲まれた八丈島。人気ポイント「ナズマド」は優雅に泳ぐアオウミガメに高確率で会うことができる。初めてでも安心して潜れる体験ダイビングなら、持ち物は水着とタオルだけでOK!もっと気軽に海を楽しみたい人にはシュノーケリングがおすすめ。



運がよければ陸上からもザトウクジラウォッチングが楽しめる足湯。
太平洋を眺め、足湯につかった後は晩ごはんへ。八丈島といえば「島寿司」。醤油ベースのツケにしたお寿司を、ワサビではなく、カラシでいただきます。



day 2



- 7:00
ホテルの庭で早朝ヨガ
- 9:00
ホテルでの朝食
- 6 10:00
ふれあい牧場
- 7 12:00
明日葉パスタを堪能
- 8 13:30
植物公園で亜熱帯植物を体感
レンタカーを返却
- 9 15:30
タクシーを呼んで
島酒の酒蔵見学と利き酒に挑戦
- 17:10
八丈島空港を出発
- 18:10
羽田空港に到着



花が咲き鳥が歌い、緑が茂る八丈植物公園。珍しいガジュマルや大きなカナリヤンに圧倒されます。温室にはハイビスカスやブーゲンビリアなどの花木類、ババイヤやマンゴーなどの果樹類など約100種類の熱帯・亜熱帯性植物があり、南国ムード満点。愛嬌たっぷりのキョン(ミニ鹿)にも会える!



島酒とは八丈島をはじめとする伊豆諸島の島々に広がった焼酎のこと。八丈島には現在4軒の蔵元があり、酒蔵見学や試飲OKの場所も。種類もネーミングも実に個性豊か。飲みくらべながら自分好みの焼酎や、焼酎に合うおつまみを探してみるのも、大人女子の旅ならではの。



16:00



Story of HACHIJO #02

伝統と文化に触れる旅

かつてこの場所に立った島人を想う、沈む夕日に何を願ったのだろう。

豊かな自然がもたらした文化は伝統となり、今も生き続けている。

その色に、形に、音に、味に、そして感触すべてにストーリーがある。



昔から八丈島は台風の通り道。風や雨などから住居を守るため、玉石の石垣を築き、その上にツバキやタブノキ等を植えて防風林をつくったそう。

豊臣秀吉の五大老の一人、宇喜多秀家。関ヶ原の戦いに敗れ、八丈島へ流された宇喜多一族に島の人々はあたたかく接し続けた。妻の豪姫とは離れ離れになってしまうものの、秀家が築いた岡山城築城400年の節目の年(平成9年)に、秀家と豪姫の像がこの地に作られ、二人は再会する。



- 12:15 羽田空港を出発
- 13:10 八丈島空港に到着
レンタカーをかりる
- 13:30 島寿司を堪能
- ① 14:30 玉石垣の道を車を止めて散歩
- ② 16:00 みはらしの湯で温泉につかる
- ③ 17:30 南原千畳岩海岸で美しい夕日を眺める
- 18:30 地元の居酒屋で島料理と島酒を満喫





ジャングルのような空気感の中、遊歩道はぐるりと滝壺を取り囲むように伸び、滝の裏側まで見ることができます。まさに裏見ヶ滝！



築150年以上の古民家を利用した囲炉裏がある喫茶店。八丈島には個性豊かな素敵カフェがいっぱい。旅の途中でほっとひと息。



- 4 10:00 裏見ヶ滝を散策
- 5 12:00 足湯きらめきで一休み
- 6 13:00 喫茶店で軽食
- 14:30 黄八丈の工房見学
- 16:00 レンタカーを返却
- 7 17:10 八丈島空港を出発



古くから伝わる伝統工芸品、黄八丈。色は黄、樺、黒の三色。島に自生している植物の天然染料で染め上げた絹糸を使い、手織りで丁寧に仕上げます。工房見学のあとは、機織りを体験。踏み木を踏みながら、手を動かすタイミングが難しい！けれど、織り上げた黄八丈は世界に一つだけの作品。旅の良い思い出です。



こちらのパンフレットもオススメ！



サンライズ&サンセットMAP





Story of HACHIJO #03

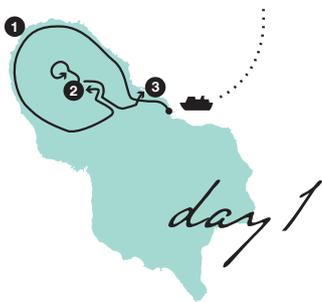
大きな自然に抱かれる旅

「ここどこ編」
動画はこちら



大きな景色は、大きな気持ちを与える。

身体を動かして自分で見つけよう。時に立ち止まって感じよう。
目的地までの道のりにも絶景はある。自然はいつも、そこにある。



22:30
竹芝棧橋出港



8:30
八丈島(底土港or八重根港)入港

1 8:45
八丈富士側をサイクリング

2 13:00
ランチ

14:30
お鉢巡り

3 17:30
キャンプ場に到着

20:00
星空観察 夜散歩



その名の通り富士山のような美しい円錐形の八丈富士。島内のあらゆる場所からその存在が感じられ島のシンボリックな山。お鉢巡りのスタート地点まではなんと階段!スロープも併設されているので登りやすい方で。山頂では「お鉢巡り」と言って火口の周りをぐるりと一周することができます。登らなければ体験できない360度のパノラマに絶句!

松林に囲まれ、底土港にも近い人気のキャンプ場でテント泊!海を眺め、島風に吹かれ、大自然の中でごはんを食べる。夜には満点の星空を仰ぎながらお散歩。アウトドアの喜びが凝縮されています。





- 8:30
キャンプ場を出発
登龍峠へ
- 4 10:30
登龍峠へ到着
- 5 11:30
ポットホール
- 12:30
ランチ
- 6 15:00
大坂橋を通過
- 7 16:00
横間海岸で休憩
- 17:30
宿に到着



車通りも信号も少なく、ダイナミックな自然を背景に自分のペースで走れる八丈島サイクリング。島内を一周できる道路は、ほどよいアップダウンの中で海も山も楽しめる最高のレイアウト。下から見ると龍が天に昇るかのように見えたため、その名がついた「登龍峠の展望」は新東京百景にも選ばれたほどの眺め。

八丈町の天然記念物であり、自然の神秘を感じずにはいられない「ポットホール」。それは、岩の上を流れる水路にできる穴のこと。小さな穴に溜まった小石が水流で回転し、長い年月をかけて少しずつ穴を大きく、深くします。直径1メートルを超えるホールも。

こちらのパンフレットもオススメ!

八丈島 サイクリング map



坂下編 (八丈富士側)



坂上編 (三原山側)



- 6:00
底土周辺を朝ボタリング
- 9:40
八丈島出港
- 20:45
竹芝に到着



{ 全島マップ }

詳細情報はコチラ



P4

ナズマド

最も有名なダイビングポイント。水深が深いダイビングが可能で大物にも出会える、海の生物の宝庫。夢のような景色が広がります。



P5

八丈植物公園

空港から車で約5分。園内は「八丈の森」「日本の森」「世界の森」など8つのゾーンに分かれ、国内外の植物を楽しめます。ビジターセンターでは島の自然を紹介中。



P6

玉石垣の道

大里地区にある「馬路散策路」は玉石垣の続く道。八丈島の歴史的景観です。整然と積み上げられた玉石と熱帯の樹木の対比は東南アジアの村へ迷い込んだよう。



P8

八丈富士

標高は854.3m、中腹まで車で行けるため比較的
気軽に登れます。ただし、体温調整しやすい重ね着
&滑りにくい運動靴で。サンダルはNG!
お手洗いはふれあい牧場にあります。



[所要時間] 飛行場から7合目まで車で30分 / 7合目
からお鉢巡りスタート地点まで55分 / お鉢巡り60分

P9

ポットホール

末吉エリアにあるポットホール。
本流とされる川に案内板が
あり、遊歩道があります。滑り
やすい箇所もあるため登山靴
が◎。ネイチャーガイドを
おすすめします。



P7

裏見ヶ滝

温泉が集中している中之郷エリア。
流れ落ちる滝の裏側を望むことが
できる珍しいスポット。



♨️ …温泉施設 ATM …ATM ♿ …トイレ

{ 季節のイベントと年間気候 }

1 January

平均最高気温
12.7℃



1月中旬
八丈島
パブリックロードレース

島外からも参加者の多い恒例の
マラソン大会。3km、10km、ハーフ
と3つのコースがあり、レース
後に行われる大懇親会も魅力の
ひとつで、島酒と島料理で参加者
をおもてなします。
新春の走り初めはぜひ八丈島で!



この時期
オススメの
服装例

2

3



3月下旬~4月上旬
フリージアまつり

春の訪れを告げるフリージアの
花が、来場する方々をお出迎え。
花の観賞の他、無料花摘み体験や
八丈島の特産品を使った特設
カフェなど色々なイベントを実施。



4 April

平均最高気温
18.7℃



4月上旬
フリージアインフィオラータ
島めしフェスタ

インフィオラータとはイタリア語で
「花を敷き詰める」という意味が
あり、フリージアの花びらを絨毯
のように敷き、巨大な絵を作製。
フリージアの香りが漂う中、花びら
によって彩られた完成品は圧巻。
同会場において、島めしフェスタ
も開催。ここでしか味わえない
島グルメをご賞味あれ!

この時期
オススメの
服装例



5

6



5月下旬
田植え体験

和泉体験農場にて行われる田植え
体験は、小さなお子様も参加でき
るイベントです。秋に収穫される
お米が待ち遠しい~!



急な雨、八丈富士のお鉢巡りでの地上と山の温度差対策など防水防風のアイテムは役立ちます! 折り畳み傘も○

7 July

平均最高気温
27.2°C



7月下旬
八丈島夏まつり

八丈町役場庁舎を会場として3日間開催されるお祭り。会場となる通りには、たくさんの夜店が参列する他、ステージでは伝統芸能、バンド演奏、芸能人によるショーなどが行われ、中でもミス八丈島の発表会は客席の注目を集めます。

この時季
おすすめの
服装例



8

9



9月上旬
八丈島 RAINBOW CUP

一般、45歳以上、レディースの3つのカテゴリーに分かれて開催されるフットサル大会。毎年、元Jリーグ一等のゲストが招待され、一緒にプレー出来るのが、この大会の醍醐味であり、たくさんのリピーターが大会に参加しています。

10 October

平均最高気温
23.6°C



10月下旬
24時間チャレンジ八丈太鼓

名前のとおり、参加者全員で24時間、夜通し太鼓を叩きつなぐイベント。会場では太鼓とのコラボ演奏など色々なイベントが行われ、飲食物の販売も24時間行っています。

この時季
おすすめの
服装例



11

12



11月中旬
優婆夷宝明神社例祭

大賀郷・大里地区の優婆夷宝明神社を会場として行われるお祭り。ステージでは伝統芸能やバンド演奏などが行われ、祭りの最後に行う恒例の大抽選会、餅まきは、参加者の楽しみとなっています。

雨の日は、島を深く知る日。

年間を通して降水量の多い八丈島。そんな雨の日こそ、オススメしたい場所があります。独自の文化を持つ島の背景を知る、今を感じる。晴れの日とは違う角度から島の魅力を感じてください。

こちらのパンフレットもオススメ!



雨の日も
楽しめるmap



八丈ビジターセンター



八丈島の成り立ちや生活、自然、生き物などの展示があり、自然体験プログラム等のイベントも開催しています。植物公園内にあるので、島特有の植物や生き物と触れ合いながら散策も楽しめます。

[料金無料 / OPEN 9:00~16:45 / 年中無休]

体験・見学

八丈島に古くから伝わる伝統工芸品「黄八丈」の機織り体験、島の貝殻を使ったアクセサリー制作、特産品の「くさや」工場見学…島の魅力を違う角度から体験できる場所が、たくさんあります!



島カフェ

雨の日のはのんびりカフェ巡りもオススメ。見える景色も、メニューも、空間も、実に個性豊か。雨音をBGMに八丈島のスローな時間を満喫できます。



八丈島地熱館

地熱発電のしくみが展示や映像を通して楽しみながら学べる資料館。八丈島は、自然エネルギーを推進している島。未来のエネルギーについて考えてみては?

[料金無料 / OPEN 9:00~16:30 / 年中無休]



八丈町コミュニティセンター

気軽にボウリングが楽しめるプレイスポット。雨の日も身体を動かしたい方へ。

[1GAME 300円・靴貸出無料 / OPEN 10:00-20:30 / 休:月曜日・年末年始 12/29~1/3]



お問い合わせ

八丈島観光協会

〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷2345-1

☎ 04996-2-1377

温泉は、島を肌で感じる場所。

火山島の恩恵を受ける八丈島。島内には個性豊かな7つの温泉があります。
お湯の中からは見ええない絶景、波の音、風の薫り…雄大な自然に身をまかせ、感じてください。

こちらのパンフレットもオススメ!



洞輪沢温泉

風光明媚な洞輪沢漁港に隣接。クラシックな佇まいと手軽さから「温泉の元祖」として親しまれています!

料金 無料
営業時間 9:00~21:00
定休日 月曜日

海が望める絶景の露天風呂。昼は太平洋を、夜は満天の星空の輝きに包まれて心身を解放するひとときを。

料金 500円 営業時間 10:30~21:30(入場21:00まで) 定休日 火曜日
電話番号 04996-8-1933



末吉温泉「みはらしの湯」

滝を見下ろしながら入浴できる、自然の中にあるワイルドな露天風呂。男女混浴のため水着の着用マストです。

料金 無料 営業時間 9:00~21:00 定休日 無休



裏見ヶ滝温泉

ジャグジー付き浴槽、打たせ湯、水風呂、サウナ…さまざまな入浴が楽しめます。

料金 当日券500円
営業時間 10:00~21:00
(入場20:30まで)
定休日 水曜日
電話番号 04996-7-0123



ブルーポート・スパ・ザ・BOON



檜立向里温泉「ふれあいの湯」

大浴場と露天風呂は総ヒノキ造り!建物には、八丈島の木材(杉やヒノキ)を使い、島民にも人気です。

料金 当日券300円
営業時間 10:00~22:00(入場21:30まで)
定休日 月曜日
電話番号 04996-7-0788

身体の不自由な方も利用できる「だんらんの湯」も併設
※要予約



足湯きらめき

目の前に広がる太平洋を見つめ、足湯につかりながら旅に思いを馳せる…リフレッシュ&リラックスに!

料金 無料 営業時間 11:00~21:00 定休日 無休



中之郷温泉「やすらぎの湯」

浴室から黒潮の海を一望でき、晴れた日は67km先の青ヶ島を望むことができます。

料金 当日券300円
営業時間 10:00~21:00(入場20:30まで)
定休日 木曜日
電話番号 04996-7-0779

お問い合わせ 八丈町福祉健康課 ☎04996-2-5570

{ アクセス }

空から

東京・羽田空港よりジェット機で55分、八丈島へ到着
全日空 東京羽田↔八丈島/毎日3便 ☎0570-029-222 (有料)

海から

東京・竹芝桟橋から大型客船で、八丈島へ。東海汽船の大型客船が毎日出航
【夜】東京→三宅島・御蔵島経由→【翌朝】八丈島/毎日1往復

東海汽船竹芝支店 ☎03-3433-1251

東海汽船予約センター ☎03-5472-9999

東海汽船八丈島支店 ☎04996-2-1211

詳細はこちら



{ 他の島々へのアクセス }

東京愛らんどシャトル(毎日運行)

青ヶ島、御蔵島へ運航
また御蔵島から三宅島、大島、利島へと飛んでいます
東邦航空(株)予約センター(日曜休) ☎04996-2-5222

当日運航状況案内 ☎04996-2-5200

青ヶ島連絡船

月~土 毎日1往復(日曜休)

東海汽船八丈島支店 ☎04996-2-1211

当日運航状況案内テブ ☎04996-9-0033

{ 島の交通 }

タクシー

レンタカー

観光バス

ガソリンスタンド

レンタサイクル

レンタバイク

詳細はこちら



お問い合わせ

八丈町産業観光課 Tel.04996-2-1125(代)
八丈町ホームページ <http://www.town.hachijo.tokyo.jp>
〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2345番地2

八丈島観光協会 Tel.04996-2-1377
ホームページ <http://hachijo.gr.jp> Eメール info@hachijo.gr.jp
〒100-1401 東京都八丈島八丈町大賀郷2345番地1